

さんが

第 六二 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

平成 二一 年

TEL 〇七五—六三一—二二七二

西暦 二〇〇九年

FAX 六三一—五七二五

孟蘭盆七月号

E-MAIL tonji@softera.jp

得度式が

おこなわれました

さる三月二四日、大勢の皆さまに見守られ、ぶじ二人のあたらしいお坊さんが誕生しました。

曹洞宗では、十歳になると得度を受けることができます。正式な僧名、正式な法衣、正式な袈裟、正式な食器（応量器—おうりょうき）を授かり、仏法に生きるという誓いをたて、お釈迦さまより正しく伝えられてきた教えの弟子となった証明（血脈—けちみやく）を受けます。



はじめは白い着物を着ているだけですが、師匠からひとつずつ法衣やお袈裟を受けて、五体投地のお拜をくりかえし、お坊さんらしい姿に変わっていきます。



これから二人は、できるかぎり施食会などにも登場します。よろしく願います。



（写真は 大森晴男様からいただきました。ありがとうございます）

北朝鮮をめぐるニュースはいつも大きく報じられ、このお便りを書いている時点でも目が離せないところですが。

核実験のあと、曹洞宗でも次のような声明を発表しました。

朝鮮民主主義人民共和国の

核実験に対して

朝鮮民主主義人民共和国（以下北朝鮮）の国営朝鮮中央通信は、本日（二〇〇九年五月二五日）「地下核実験を成功裏に行った」と報じました。現在、各国政府は核実験が実際に行われたかどうかを確認中ではありますが、これは、追加的な核実験を行わないよう求めた国連安全保障理事会決議を無視しての行為であり、断じて容認することとはできません。

「人権、平和、環境」を標榜する私たち曹洞宗は、北朝鮮の今回の行動、および過去の核実験や飛翔体発射などの反平和的な行為に対し、深い憂慮と遺憾の意を表明いたします。今後、北朝鮮が各国との事態收拾にあたり二度とこのような行為を行うことのないよう、そして、対話を通じて平和裏に解決されることを強く望みます。

二〇〇九年五月二五日

曹洞宗宗務総長 淵 英徳

日本や世界の中でも、どう対応していいいいのか意見の分かれるところでしよう。すべての人々が安心して暮らせる社会がやってくる日を信じる、強い気持ちと忍耐が試されているようです。

夏が来た！

☆☆ ことども禅の集い

今年は金沢にある大乘寺へまいります。北陸には永平寺を始め、曹洞宗の古くて大きなお寺がたくさんありますが、大乘寺もそのひとつです。シルクスクリーン体験や、宇宙博物館もあります。お友だちをさそって、ぜひ遊びにきてね。

○日時 7月27日（月）～28日（火）

○行き先 石川県方面

○対象 小学生から中学生まで

保護者参加可です

集合は京都駅八条口です

永代供養塔はじまりました

春彼岸法要の日、供養塔の開眼式を、役員さんご参列のもと執り行いました。すでに何名かのご遺骨が納められました。納められた方のお名前は写真のように、供養塔左側の石札に刻まれています。

